（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	飯田下伊那合同企業説明会in名古屋
事業主体 （連絡先）	飯田職業安定協会 0265-22-4511（内線3514）
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大　オ　その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,816,043　円　（うち支援金：　1,715,000　円）

事　業　内　容

人口減少を背景とした人材不足により、産業界における人材確保が困難な状況にあること、高校卒業後に約7割の若者が地域を離れる状況にあることから、Uターン就職促進のためには、地域外に進学した学生へのアプローチをする必要がある。そのため、名古屋市で合同企業説明会を開催し、新たな学生層へのアプローチを行う。

・参加企業募集・地元企業への情報発信：２月
・イベント用WEBサイトオープン：３月
・大学等へのチラシ・ポスター配布・地元への組合回覧：４月
・飯田下伊那合同企業説明会in名古屋の開催：６月29日



【説明会の様子】

事　業　効　果

①来場者のアンケートからは、学校からの案内や家族からの紹介で説明会を知ったという回答が多かったが、インスタグラムで知ったという学生もおり、継続的に実施していくことで学生への効果的な情報発信が期待できる結果となった。
②参加者数は42名であまり多くはなかったが、地元就職を考えている学生にとっては地元企業を知る貴重な機会となった。アンケートでは時期的にもちょうどよいという回答が多く、継続実施することで定着を図りたい。
③インターンシップまでつながった学生は４名と少なかったが、学生との新たな接点ができ有効だったと手ごたえを感じた企業もあり、次年度へつながる内容となった。

【目標・ねらい】

①地域外に居住する高等教育機関の学生への効果的な情報発信

②説明会への学生の参加

③企業インターンシップへの学生の参加

※自己評価【Ｂ】

【理由】
初めて地域外で行う合同企業説明会で、参加者数等はあまり多くはなかったが、学生との新たな接点を作り出す機会となり、今後につながる内容となった。

今後の取り組み

・名古屋での合同企業説明会をより多くの方に知ってもらえるよう、広報活動の充実を図る。特に、当会の公式インスタグラムでの情報発信が継続的に行われていることで、地元で開催した企業説明会でも来場のきっかけにインスタグラムをあげる参加者が増えてきており、SNSの活用とラジオや紙媒体での広報を組み合わせて情報を発信していく。
・来場者への特典等、来場者を増やす工夫を積極的に取り入れて参加者の増加を目指す。